

発達科学グループ(司会:山本淳一)

山本絵里子(本センター)

幼児における身体リズムの認知:fNIRS 研究

- 発達科学研究グループは、(1)乳幼児の言語・認知・運動の発達に関する、行動と脳機能の観点からの分析、(2)幼児期からの早期発達支援プログラムの開発とビデオ解析と工学デバイス(モーションキャプチャ、装着型アイトラッカー)による解析、の2つの柱で研究を進めている。
- 本発表は、幼児の身体運動には一定のリズムがあり、それが身体運動の発達を促進するのにとどまらず、対人認知、言語発達とどのように関係するかを、発達神経科学の観点から明らかにしようとする研究である。
- 身体リズムの発達研究は、大人と子どものインタラクション研究へと発展させることで、基礎研究にとどまらず、「教育」「療育」「発達支援」などの発達臨床領域との架橋研究となることが期待できる。